特別支援学級学習指導案

　　　　　　　　授業者　T1 学級担任

T2 栄養教諭

１　単元名　『家での手伝い、家庭での役割』（１／１）

　　　　　　お手伝い大作戦！～おうちの人に静岡茶をごちそうしよう～

学　級　１～６年　15名

２　本時の目標

　　「家庭での自分の役割について」

Ａ　家でお手伝いをすると家族に喜ばれるとらえている。

　　・家族が喜ぶ時について考える。

　　・お茶の淹れ方を学ぶ。

Ａ’お茶を淹れることで、家族に喜んでもらいたいととらえる。

３　授業過程

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 活動 | 学習活動  （○教師の働きかけ・予想される児童の反応） | ◇留意点　＊支援　【評】評価 | 形態 |
| つかむ  追究する  ・  深める  まとめる  ・  つなげる | * 家族が喜ぶ時はどんな時ですか。（T1）   ・みんなでいる時。  ・ごはんを食べている時。  ・この前、食器洗いを手伝ったら、喜んでもらえた。  家族のみんなに喜んでもらうために、おいしいお茶の淹れ方を覚えよう。    ○お茶のおいしい淹れ方について知って、３人分のお茶を美味しく淹れてみよう。（T2）  　・茶器の名前と扱い方  　・淹れ方のポイント  １．お湯の温度　70℃位（湯呑を触って確認）  ２．お湯の量（湯飲み８分目）  ３．茶葉の量（小さじ１杯）  ４．浸出時間（一煎目は１分）  ５．まわし注ぎ、最後の一滴  　・二煎目の淹れ方（浸出時間：口カウント10秒）  　・三煎目の淹れ方（浸出時間：すぐ）  　・３人グループでお茶を淹れる（一～三煎目まで）  ○何煎目のお茶が一番好きでしたか。（T2）  　・一煎目は、甘く感じた。  　・二煎目は、家で飲んでいる味と同じだった。  　・三選目は、苦いけどさっぱりした味だった。  ○お家の人にも、おいしいお茶を淹れてあげられそうかな。（T1）  ・冬休みに、家族にごちそうしてみたい。  ・お正月にみんなで集まった時にごちそうしたい。  ・家にも急須があったから、今日帰ったら早速やってみようと思ったよ。 | ◇ポイントをおさえながら、デモンストレーションを行う。ポイントが多いため、T2のひとつの動作の後、すぐに児童も動くようにする。（お湯を湯冷ましに入れたら、児童もお湯を入れるなど）（T2）  ◇家庭でお茶を楽しむポイントを伝える。  【評】思考・判断・表現  　お茶を淹れることで、家族に喜んでもらいたいととらえる  ・発表から評価 | 全  ５  分  全  35  分  全  ５  分 |